

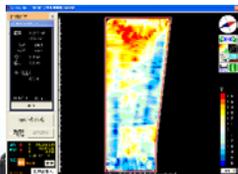
# GPSレベラーを用いた水稲乾田直播における 圃場の合筆・均平化技術

## 技術の概要

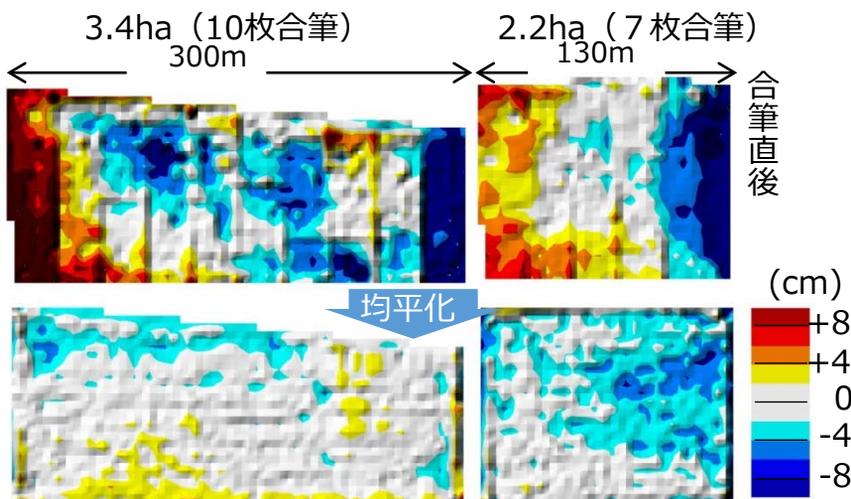
乾田直播の生産性を向上させるため、GPSレベラーと営農機械を利用して30a区画の圃場を大区画に合筆、均平化する。合筆後の地カメラ、生育ムラを軽減するため、高低差がある圃場は作土層を維持した合筆が可能。

### GPSレベラーにより

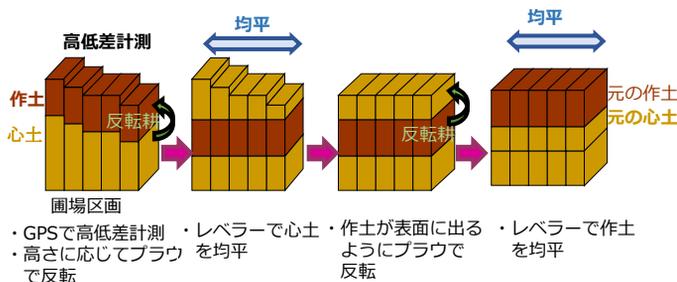
- 圃場の高低差マップ作成
- 現在位置、作業経過の表示が可能
- 播種など他の作業中に高低差計測が可能



GPSレベラー



大区画圃場を効率良く均平化



地カメラを軽減する合筆方法

### 合筆の作業時間\*

作業	作業機	作業時間 (hr/ha)
畦畔破碎	ロータリー	1.47
高低差計測	GPSレベラー	0.57
反転耕	ボトムプラウ	0.85
砕土	ケンブリッジローラ	1.00
均平	GPSレベラー	2.68
反転耕	ボトムプラウ	1.63
砕土	ケンブリッジローラ	0.87
均平	GPSレベラー	1.38
合計		10.43

\* : 30a区画5枚を1.5ha区画1枚に合筆した場合

## 期待される効果

生産者自らが営農機械を利用して、生育ムラを軽減した圃場の大区画化を作業時間10.4hr/ha程度で可能になり、迅速に生産性を向上できる。

### 【お問い合わせ先】

農研機構 東北農業研究センター

企画部産学連携室 広報チーム 電話：019-643-3414

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。